

ホールボディカウンターによる放射線内部被ばく調査について

平成24年7月9日

放射能対策本部提出資料

保健福祉部健康増進課

1 事業名 ホールボディカウンターによる放射線内部被ばく調査

2 現状と問題点

現状： 栃木県が、本市金沢地区住民71名の調査を実施し、全員の結果が「検出限界以下」となった。

本市が実施した空間放射線量測定結果で金沢地区は最も数値の高い地域であり、他地域でホールボディカウンターの調査を行っても同様の結果（検出限界以下）と推測される。

問題点： 県有識者会議の総合評価として『栃木県内は将来にわたって健康影響が懸念されるような被ばく状況にないと評価する。今回のように県が主体となって行った「県民の放射線被ばく線量を把握するための調査」を継続して実施する必要性は認められない。』と結論づけた。

3 対応とスケジュール

対応： ホールボディカウンターによる内部被ばく調査は、必要ないと判断し、導入は見合わせる。

スケジュール：

- (1)本市放射能対策アドバイザーからの意見聴取
- (2)放射能対策本部への付議
- (3)市議会放射能対策特別委員会への説明
- (4)予算の減額補正

4 予算

4・1・5・706放射能対策事業（健康増進課）18備品購入費 47,250千円